

2月

- 3日 心肺蘇生法訓練(厚生園)
- 4日 不在者投票(信生寮)
- 12日 地域連携推進会議(信生寮)
- 24日 パラスポーツ体験会inリハセンター(信生寮)
- 24日 防犯訓練(讃栄寮・ナルド)



心肺蘇生法訓練



不在者投票

3月

- 4日 火災想定避難誘導訓練(信生寮)
- 14日 2025年度 聖隷福祉学会
- 23日 アロマで春の気分を味わおう(信生寮)
- 23日 搬送法訓練(讃栄寮・ナルド)



搬送法訓練



プロギング



ベランダお花見

4月

- 1・2日 新入職員オリエンテーション(厚生園)
- 2日 ベランダお花見(信生寮)
- 4日 プロギング in 浜松城公園(厚生園)
- 15日 消防設備訓練(信生寮)
- 28日 防災設備訓練・緊急連絡訓練(讃栄寮・ナルド)

ご援助とご奉仕 ありがとうございます

◆ご援助いただいた方々 (敬称略・順不同)
(令和8年2月1日～令和8年4月30日)

渥美頼司、岩品勝久、笠原桂子、木下真知子、小島かおり、志村俊身、鈴木寿子、鈴木秀長、高岡誠次、藤沢俊光、松本五百子、山田八重、小田美装術、ユニヴァーサル商事(株) 匿名2名

合計 143,000円

◆ご奉仕のかずかず (敬称略・順不同)
(令和8年2月1日～令和8年4月30日)

- 信生寮・まじわりの家 …… 浜松聖星高校末広会
- 讃栄寮 …… 伊藤たかね(手芸)、橋本英二(書道)
- 礼拝奉仕者 …… 赤井伸之、大倉和子、神戸輝明、長谷川佳子、長谷川治代、池谷明高、岡俊雄、星野健、三輪保志、三輪尚士、望月明、鈴木淳司、萩田妙子、櫻井かほり

苦情解決報告

聖隷厚生園讃栄寮では、施設の苦情解決を適切に行うことにより福祉サービスの質を高め利用者の満足度や信頼性を確保・向上させ利用者の権利を守ることを目的として、苦情の受付体制を整えております。

令和7年10月1日～令和7年12月31日の期間、苦情はありませんでした。

「聖隷厚生園を育てる会」へのご支援について

郵便振替口座 00880-6-15517「聖隷厚生園」

「聖隷厚生園を育てる会」は、厚生園の福祉活動が健全に継続・発展するように、助言や支援をしていくために発足しました。これからも厚生園が地域福祉推進の拠点として、その役割を担う為の取り組みをサポートしていきたいと考えております。ご支援をよろしくお願い申し上げます。戴いたご寄付は、聖隷厚生園の福祉活動にあてられます。

当施設ホームページで、「機関誌まじわり」のバックナンバーも公開しています。ぜひ、ご覧ください。



信生寮



讃栄寮・ナルド工房

ホームページはこちらから！

まじわり

厚生園事業・運営計画

各施設の行事

厚生園の動き

傷ついた草を折ることなく
ほのぐらい灯心を消すことなく
真実をもって道をしめす

(イザヤ書42章3節)

表紙写真撮影:中沢力男



2026年度 事業計画

聖隷厚生園

障害者支援施設聖隷厚生園信生寮
聖隷厚生園まじわりの家
訪問看護ステーション細江
聖隷ケアプランセンター細江
聖隷ヘルパーセンター浜松北
聖隷厚生園ナルド工房

救護施設聖隷厚生園讃栄寮
生活訓練事業所ナルド
地域活動支援センターナルド
障害者相談支援事業所ナルド
福祉共同住宅ファーストステップ



聖隷厚生園 園長
石川 明彦

2026年度は、聖隷厚生園が展開する各事業のさらなる連携強化を図り、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・福祉の一体となった事業展開を推進していく。「利用者自らの意思決定」を尊重し、心身の状態や生活環境に応じた個別支援を展開することで、より質の高いサービス提供を目指していく。特にライフステージに応じた多様なニーズに的確に応えることが出来るよう、医療、介護、相談、通所、就労、入所といった各事業所が提供するサービスを切れ目なく効果的に提供できる体制の構築を行う。在宅部門においては、地域ニーズが多様化・複雑化する中で、他法人・他機関との連携と協働を積極的に進め、地域課題に柔軟に対応できる事業運営を目指す。

【施設理念】 一人が癒されるために、一人があるべき姿に立帰るために
一人の生命が真にまもり生かされるために、そして地域のために

- 【経営方針】**
1. 利用者の意向に添い、安心して尊厳のある生活ができる支援を行う
 2. 地域課題の解決に向けた取り組みを行う
 3. 利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の整備をする
 4. 介護・福祉人材の確保と育成に取り組む
 5. 災害・感染症対策・地域における公益的な取り組みを行う

【事業・運営計画】

1. 個別支援を基本とした生活支援の実施

- (ア)意思決定支援の取り組みを進め、希望や要望を反映・実現できるような個別支援計画の作成と実践を行う。
- (イ)身体機能の低下や生活意欲の減退を防ぎ、利用者が主体的にリハビリテーションに取り組めるよう、専門職と協力し、支援方法を個別支援計画に盛り込んでいく。
- (ウ)苦情受付や処遇困難ケースについて、困難となっている原因を職員同士で分かち合い、聖隷厚生園が一体となり、利用者との関わり方法を模索する。
- (エ)虐待防止の手引きに基づいた、利用者の尊厳を守る取り組みや、理念の継承、倫理綱領の再確認等を行う。
- (オ)口腔内環境を整え、オーラルフレイル予防・窒息予防に取り組むことで、「口から食べる食事」、「美味しい食事」の提供を継続していく。
- (カ)給食委託業者と協働し、給食のオペレーションの見直しを行いつつ、物価高騰に対応できる、安定、効率的な食事提供のあり方を導入する。
- (キ)各事業が指定基準に沿った運営が出来るよう、聖隷厚生園で一体的なチェック体制を構築していく。

2. 在宅事業所の地域・医療連携の取り組み

- (ア)訪問看護ステーション細江では、基幹病院である聖隷三方原病院・浜松医科大学医学部附属病院と連携を強化する。また、地域包括支援センター細江と連携を図り、高齢者の独居世帯の増加が進む引佐地区への積極的な介入を行い「地域で暮らす」を支えていく。
- (イ)聖隷ヘルパーセンター浜松北では、細江、引佐、三方原、都田4地区を中心に地域ニーズに応じていく。特にヘルパーセンターいなさ訪問エリアの分担を整理し、効率化を図る。
- (ウ)聖隷ケアプランセンター細江では、職業倫理、法令遵守の意識を高め、担当ケースについての関りと理解を深めていく。
- (エ)聖隷厚生園まじわりの家では、変化する利用者の状態(医療情報等)の把握に努め、他部署・他事業所との連携を強化し、タイムリーな情報の伝達と共有化の仕組みを整備する。
- (オ)障害者相談支援事業所ナルドでは、地域の利用者がサービス利用しながら生活が充実できるよう機能強化事業所として、北エリアを中心に関係機関と連携強化を図り、地域生活を支援する。
- (カ)地域活動支援センターナルドでは、パンフレット配布などの情報提供や浜松市北エリア連絡会「つながろう部会」に参画し、関係機関・事業所と連携し、地域支援強化を図る。
- (キ)生活訓練事業所ナルドでは、将来的に就労を目的とし、就労支援事業との連携強化を図る。就労に結び付くためのプログラムの提供と、地域ニーズに合わせた聖隷厚生園内の事業の組織体制の整備を行う。
- (ク)福祉共同住宅ファーストステップでは、移行支援住居の開設を協議する。若年層の日常生活訓練の機会を提供し、将来的な一人暮らしに向けた支援の強化を図る。
- (ケ)聖隷厚生園ナルド工房では、利用者の仕事へのやりがいを引き出し、地域の企業や事業所と協働してステップアップできる取り組みを行う。

3. 安全・安心・快適で働きやすい施設環境の整備

- (ア)最新の介護・福祉機器を導入し、「介護・福祉支援の自動化」を推進させる。
- (イ)「ノーリフティングケア」を継続し、職員が長く働き続けることができる職場づくりに努める。
- (ウ)ケア記録システム等におけるICTの活用を進め、業務省力化を図る。
- (エ)カスタマーハラスメント防止において、指針に基づいた相談受付や研修を行う。
- (オ)レクリエーション機会を通じて、職員同士の交流を活性化させる。

4. 介護・福祉人材の確保と育成の取り組み

- (ア)各専門職ラダー、コンピテンシー指標を活用し、職員の人材育成を図る。
- (イ)聖隷クリスティーファ大学・介護専門学校等と連携し、留学生・実習生・インターンシップの受け入れを積極的に行い、養成校とともに将来の介護・福祉人材の育成に貢献する。
- (ウ)SNS等を活用した人材確保・育成対策を講じる。

5. 災害・感染症対策、及び地域貢献活動

- (ア)大規模災害時や感染拡大時にも事業が継続できるように、BCP研修及び訓練を行う。また要請に応じて応援職員の派遣や、福祉避難所としての機能を整備する。
- (イ)地域団体と協働し地域清掃活動など利用者が活躍できる場を設け、利用者・施設・地域団体が一緒に地域貢献ができるよう取り組む。

厚生園 **パラスポーツ体験会** 2月24日

信生寮、まじわりの家、訪問看護ステーション細江、聖隷ステップサポート、障害者支援施設みとす(生活介護あすなろ)合同でパラスポーツ体験会を行いました。

ビーンバッグ投げやフライングディスク、車椅子スラロームの計測、ポッチャの体験を行いました。はじめてパラスポーツを体験される方も多く、最初はみなさん緊張の面持ちでした。さまざまな競技に触れることで、次第に笑顔が増え、身体を動かす楽しさや障がいがあってもスポーツを行える楽しさを感じることができました。



パラスポーツとしても
人気がある
フライングディスク



フライングディスク



ポッチャ



車椅子スラローム

信生寮 **ショッピング企画** 2月16日

ファッションセンターしまむらへご利用者とお買い物に出かけました！春の洋服やカバンを選び、楽しそうでした！新しい服を着て気分をあげて春を迎えていきたいです。



ワクワク
迷いながら
カバン選び！



信生寮 **スタバを飲もう！** 3月11日

スターバックスの春の新作をお持ち帰りしました。桜味を感じ、春の訪れを楽しむことができました。とってもいい笑顔がみられ美味しかったです！



信生寮 **午年の縁起を担いで馬を見に行こう！** 2月18日

風も強く、寒さもありましたが馬を間近で見る事ができて嬉しかったです。馬にも直接触れることができ、笑顔が絶えない時間になりました。



信生寮 **季節を感じよう“春”** 3月2日

施設内にいながら春の訪れを身近に感じていただけるよう、桜をイメージした空間づくりを行いました。ご利用者やボランティアの皆さまにもご協力いただき、桜に見立てたペーパーフラワーを、一つひとつ作成しました。また、食堂には桜のガーランドを飾り、穏やかな春の雰囲気演出することができました。



食堂



作成物

信生寮 **押し花企画** 3月18日

パンジー・ミモザ・カスミソウなどの花に触れて、春を感じてもらいながら押し花企画を行いました。色々な花から好きな花を選んでもらい、楽しく製作することが出来ました！参加されたご利用者からは「楽しかった！」と笑顔が見られました。



押し花になる前の花



押し花の出来上がり！



押し花を本に挟んだり…



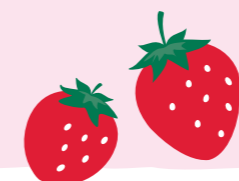
押し花に大満足！



綺麗なミモザ

地域活動支援センターナルド **イチゴ狩りに行こう！** 4月6日

バスと天竜浜名湖鉄道を利用してフルーツパークへ行き、イチゴ狩りを楽しんできました！どれにしようか迷いながら選び、甘いイチゴを思う存分味わいました。お腹いっぱいになって満足したひとときとなりました。



地域活動支援センターナルド **バレンタイン企画 2月17日**

バレンタインにちなんで、お菓子作りを楽しみました。チョコタルトを作ったり、マフィンにチョコやトッピングでデコレーションしたりと、それぞれ思い思いに仕上げました。完成したお菓子は、みんなで談笑しながらおいしくいただき、楽しいひとときを過ごしました。



讚栄寮 **4時スposスペシャル 2月19日**

讚栄寮では昨年度から体力低下予防のため、午後4時からご利用者と職員と一緒に運動をする時間を設け、取り組んでいます。普段は讚栄寮の近くを散歩したり、YouTubeの動画を観ながら運動をしています。今回は4時スposスペシャルと題し、都田公園に行ってきました。青空のもと、参加者みんなで気ままに芝生の上をお散歩しました。参加者からは「外で歩くと気持ちが良い」「いつもと違う場所を散歩できて楽しい」とコメントいただきました。また暖かい季節に実施したいです。



讚栄寮 **焼き芋企画！ 2月26日**

2月も終わりますが、まだまだ冬の寒さが厳しいです。讚栄寮では食事企画として焼きもを作りました。ご利用者みんなでアルミホイルを巻き、BBQコンロで暖をとりながら焼きました。サツマイモには蜜がたっぷり。ホクホクのサツマイモを皆さん「おいしいね。」と笑顔で食べていました。



上手に巻けるかな

しっかり火を通そう

おいしそう～



讚栄寮 **家族懇談会 2月28日**

2年振りとなる家族懇談会を開催いたしました！短い時間の中ではありましたが、厚生園や讚栄寮の事業計画の説明を行わせていただき、ご家族ごとの個別面談を通し、今後の支援内容や将来の方向性などについてお話ができました。



ご家族との写真撮影も行い、ご利用者から「会えて嬉しい！」「これでこれからも目標をもって頑張れます！」などのお言葉を聞くことができました。来年度以降も継続したご家族との交流の場を設けていきたいと思ひます。



地域活動支援センターナルド **ボウリングをしよう！ 3月15日**

ボウリングを2ゲーム行い、体を動かした後は中華料理を食べに行きました。ストライクやスペアが出ると盛り上がり、楽しくゲームをすることができました。運動の後のご飯はとても美味しく、和やかな時間を過ごしました。



厚生園 **プロギング 4月4日**

第5回聖隷厚生園×浜松学園プロギングを開催しました。天候があやぶまれる中、浜松城公園を出発した77名の参加者が街中へ飛び出し、「ゴミ発見！」「ナイス！」と声を掛け合いながら、元気よく身体を動かしつつゴミ拾いを行いました。ご利用者、ご家族、職員、法人関係者など、回を重ねるごとに参加の輪が広がっていることを大変嬉しく思います。

今回は、女子バレーボールチーム「ブレス浜松」の選手にもご参加いただき、福祉×地域団体×スポーツチームの協働が実現しました。ご利用者からは「いいことをすると気持ちがいい！」と楽しめたようです。

今回のゴミ収集量は約16.4kg。地域への貢献がしっかりと「見える形」で表れました。お天気が最後まで味方してくれたことにも感謝しつつ、今後もこの活動を継続し、さらに広げていきたいと思ひます。

